



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ)③

創業から10年、運送受注台数は緩やかに増えていくが2便体制も共配の目論見も自前で扱えるだけのまとまった荷物量がないと絵にかいた餅。ばたばたするだけで手ごたえがない。事業目的や価値をすることもなくその日暮らし。当社のどこに魅力を感じているのか不安になり荷主にアンケートをした。回答はドライバーの働きぶりの良さを認める声が多い。この時代長時間労働の中で配送だけでなく付帯作業にも不平を言わず取組んでくれる(荷主にとっても会社にとっても)使い勝手の良いドライバーを抱える事が競争力の源泉だったように思う。倉庫会社から商品ピッキング作業請負の依頼がきた。夕方から翌朝まで12時間を超える作業だ。さらに広い倉庫に移り近くの大学の留学生も含め10人以上のメンバーで請け負ったと思う。2008年9月のこと。米国のリーマンブラザーズの経営破綻をきっかけにリーマンショックが起こる。



さらば5256

ベテラン社員たちに惜しまれながら思い出深いトラックが引退した。2004年登録のいすゞ2トンワイドトラック。初期の格納ゲート付き。小回りが効きあらゆる輸送案件に応じて皆から愛される存在だった。後日引き取り業者から送られてきた社名ロゴを剥がされた5256の写真を見た。このレモンイエロー色のまま海外で余生を過ごすのか。ホント世話になった。ありがとう！このトラックにはエピソードがある。新車点検で整備工場内においてディーラーのメカニックが運転する大型トラックに接触され運転台が大破した。ディーラーは総出で平謝り。大慌てで修理した。だが運転台ドアの隙間から雨漏りがする微妙なゆがみは直らないままだった。その後の詳細は省くが、その後何年も新車購入価格でかなりわがまを聞いてもらったのは言うまでもない。



誕生日おめでとう。

2日 J・H
14日 T・I
24日 T・S
31日 T・O



二十四節気

5日 啓蟄(けいちつ)
冬ごもりしていた地中の虫がはい出てくる

20日 春分(しゅんぶん)
太陽が真東から昇り真西に沈む
昼夜がほぼ等しくなる

日の出 5:47
日没 17:54

今月のひとこと

日本の組織は会議開始時間には几帳面ですが、終わり時間がルーズな事が多いですね。当たり前のようにダラダラと延びていく。日本人が場の空気を大切に
する種族だからでしょう。
民俗学者

SPACE
EXPRESS
Co.,Ltd.

株式会社スペースエクスプレス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-9-45
TEL: 0463-21-5522 FAX: 0463-21-5529
<http://www.spaceexpress.co.jp>



代表取締役 河面 直